

令和 7 年 度

小学校教員資格認定試験

教科及び教職に関する科目(Ⅲ)

注 意 事 項

受験者は、下記の注意事項に従うこと。それ以外の注意事項は全て試験監督者の指示によること。

1. 試験監督者の「始め。」の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 小学校の 10 教科の中から、1 教科を選択して受験してください。
3. 問題は 2 問とも解答してください。
4. 解答用紙は、1 問につき 1 枚(表のみ)使用してください。
5. 算用数字は 1 マスに 2 文字、記号及びアルファベットは 1 マスに 1 文字とします。また、句読点も 1 文字と数えます。問題において特段の指示があるものは、これにかかわらず問題の指示のとおりとします。
6. 解答する教科名、受験番号、氏名を解答用紙の指定された欄に 2 枚とも必ず記入してください。
7. この試験の解答時間は、「始め。」の合図があってから 60 分です。
8. 試験が終わるまで退室できません。
9. 試験監督者の「やめ。」の合図があったら、直ちにやめてください。
10. 下書きには問題冊子の余白を使用してください。
11. 問題文中の「小学校学習指導要領」とは「小学校学習指導要領」(平成 29 年 3 月文部科学省告示第 63 号)における対応する教科の章又は節を指し、各教科の『小学校学習指導要領解説』とは文部科学省『小学校学習指導要領(平成 29 年告示)解説』(平成 29 年 7 月)の対応する教科のものを指すものとします。
12. 試験終了後、問題冊子を必ず持ち帰ってください。
13. 各教科のページ数は次ページの目次に記載しています。

目 次

1. 国 語	1
2. 社 会	4
3. 算 数	8
4. 理 科	11
5. 生 活	14
6. 音 楽	17
7. 図画工作	20
8. 家 庭	23
9. 体 育	26
10. 外 国 語(英語)	29

国語

問 1 次の各問いについて、解答用紙の行頭 1 文字目に(1), (2)の問題番号を書いた後に答えなさい。

- (1) 「小学校学習指導要領」の「第 2 各学年の目標及び内容〔第 5 学年及び第 6 学年〕 2 内容〔知識及び技能〕」の(1)には、次の指導事項が示されている。

イ 話し言葉と書き言葉との違いに気付くこと。

この事項を指導するに当たり、「話し言葉と書き言葉との違い」として、どのような違いを挙げることができるか、80 字以上 100 字以内で具体的に記述しなさい。

- (2) 「小学校学習指導要領」の「第 2 各学年の目標及び内容〔第 3 学年及び第 4 学年〕 2 内容〔知識及び技能〕」の(2)には、次の指導事項が示されている。

イ 比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使うこと。

第 3 学年において、「必要な語句などの書き留め方を理解し使うこと」を指導するに当たり、どのような学習活動を設定すればよいか。次の①, ②の条件を踏まえて 100 字以上 150 字以内で記述しなさい。

- ① 児童が「必要な語句」などを書き留める目的について具体的に記述すること。
② 「書き留め方」を「理解し使う」ための学習活動について具体的に記述すること。

問 2 「小学校学習指導要領」の「第2 各学年の目標及び内容〔第1学年及び第2学年〕 2 内容〔思考力、判断力、表現力等〕 B 書くこと」の(1)には、次の指導事項が示されている。

- ア 経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。
- ウ 語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。

この二つの指導事項に示された資質・能力の育成を目指して、〔思考力、判断力、表現力等〕の「B 書くこと」の言語活動例「ア 身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞きしたことを書く活動」を通して指導を行いたい。そこで、生活科で行う町探検の活動との関連を図り、第2学年の授業で、「町たんけんで見つけたことをお知らせしよう」という学習のめあてを設定し、全体で6時間の学習活動を進めることにした。

あなたならどのような授業を考え、どのように指導を行うか。6時間の学習活動全体が分かるように、600字以上800字以内で記述しなさい。

社 会

問 1 『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 小学校 社会』(令和 2 年 3 月国立教育政策研究所)には、第 4 学年の内容「(2) 人々の健康や生活環境を支える事業」を事例として、「内容のまとまりごとの評価規準」の作成手順が示されている。このことに関する次の各問いについて、解答用紙の行頭 1 文字目に(1)、(2)の問題番号を書いた後に答えなさい。

- (1) 第 4 学年の「内容のまとまり」として、「人々の健康や生活環境を支える事業」以外にどのような項目が設定されているか。「小学校学習指導要領」を踏まえ、箇条書きで四つ挙げなさい。
- (2) 同書には、「内容のまとまりごとの評価規準」を作成する際の「観点ごとのポイント」が示されている。第 4 学年において、「主体的に学習に取り組む態度」についての評価規準を作成する際のポイントを、次の四つの語句を全て用いて 200 字以上 250 字以内で記述しなさい。なお、用いた四つの語句には、下線を引くこと(複数回用いた場合にも、その全てに下線を引くこと)。

【語句(使用する順番は問わない)】

「学年目標」 「観点の趣旨」 「問題解決」 「社会生活」

問 2 次の文章を読んで、解答用紙の行頭 1 文字目に(1)～(4)の問題番号を書いた後に、下の各問いに答えなさい。なお、(1)については、解答用紙の行頭 2 文字目に①～④の番号を書いた後に答えること。

現代は、コンピューターやインターネットなどの情報通信技術(ICT)の発展によって、情報社会がさらに進展し、狩猟社会(Society 1.0)、農耕社会(Society 2.0)、工業社会(Society 3.0)、情報社会(Society 4.0)に続く、Society 5.0 ① という新しい社会の姿が提唱されるようになってい

る。情報化の進展により個人情報流出の危険性が増し、プライバシーを含む個人の権利保護のために個人情報保護法などが制定されてきたが、インターネットでは、誰もが匿名で情報を発信できるため、インターネット上の人権侵害への対応や知的財産権 ② をめぐる課題も生じている。

一方で、インターネットからの情報収集や商品購入、SNS(Social Networking Service)を利用した社会的ネットワークの拡大なども容易となった。消費者を保護する仕組みとして、クーリング・オフ制度 ③、消費者契約法、電子契約法などの法制度が整備されてきたが、インターネット通販をめぐるトラブルなども増えており、自立した消費者として、的確な情報と判断に基づく行動がより求められている。同時に、地域間や個人間・集団間などでのデジタル・デバイド ④ をめぐる課題も新たに指摘されている。

また、クレジットカードや電子マネーなどを使って支払いをするキャッシュレス決済の普及が進みつつあるなど、決済や金融の在り方も多様化している。近年では、ICT と金融を融合させたフィンテック(FinTech)が拡大し、日本銀行 ⑤ も FinTech センターを設立するなど、新しい金融の在り方が模索されている。

さらに、大量の情報や ICT を活用した行政の改革 ⑥ や学校教育の改革などが進むとともに、情報を生かして発展する産業 ⑦ は、国民生活の利便性を向上させている。他方で、私たちには、情報を正しく活用したり、利用したりする情報リテラシーや情報モラルが不可欠となっている。

(1) 下線部①～④の用語について、各 80 字程度で簡潔に説明しなさい。

- ① Society 5.0
- ② 知的財産権
- ③ クーリング・オフ制度
- ④ デジタル・デバイド

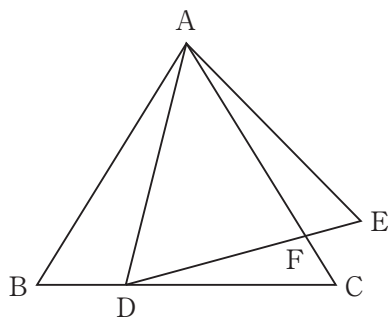
- (2) 下線部⑤について、我が国の中央銀行である日本銀行が果たしている三つの役割とは何か、全て合わせて 120 字程度で簡潔に説明しなさい。
- (3) 下線部⑥に関連して、政府の担う役割によって「大きな政府」と「小さな政府」という考え方があるが、それぞれどのようなメリット、デメリットがあるのか、全て合わせて 80 字程度で簡潔に説明しなさい。
- (4) 下線部⑦に関する学習として、第 5 学年「我が国の産業と情報の関わり」の単元について、「小学校学習指導要領」の「2 内容」では、「情報の種類、情報の活用の仕方などに着目して、産業における情報活用の現状を捉え、情報を生かして発展する産業が国民生活に果たす役割を考え、表現すること」とされているが、「情報の種類」及び「情報の活用の仕方」とはどのようなことか。『小学校学習指導要領解説』に基づき、各 50 字程度で簡潔に説明しなさい。

算 数

問 1 「小学校学習指導要領」の「第 2 章 算数科の目標及び内容 第 2 節 算数科の内容 2 各領域の内容の概観 C 測定」領域における比較・測定の指導に関する次の各問いについて、解答用紙の行頭 1 文字目に(1), (2)の問題番号を書いた後に答えなさい。

- (1) 直接比較から間接比較へと移行する際の指導上の留意事項について、具体的な学習場面を例示し、300 字以内で説明しなさい。
- (2) 任意単位による測定から普遍単位による測定へと移行する際の指導上の留意事項について、具体的な学習場面を例示し、300 字以内で説明しなさい。

問 2 次の図の $\triangle ABC$ と $\triangle ADE$ は正三角形である。辺 CA と辺 DE の交点を F とし、 $AB = 9\text{ cm}$, $BD = 3\text{ cm}$ であるとき、次の各問いについて、解答用紙の行頭 1 文字目に(1), (2)の問題番号を書いた後に答えなさい。ただし、結果だけでなく、求める過程についても記述すること。なお、計算過程の式は、解答用紙のマス目に合わせる必要はない。



- (1) 線分 EF の長さを $x\text{ cm}$ とするとき、線分 AE の長さを x の式で表しなさい。
- (2) x の値を求めなさい。

理科

問 1 第 5 学年の内容「振り子の運動」を扱う単元では、「振り子が 1 往復する時間は、おもりの重さなどによっては変わらないが、振り子の長さによって変わることを学習する。このことに関する次の各問いについて、解答用紙の行頭 1 文字目に(1)、(2)の問題番号を書いた後に答えなさい。

(1) 「振り子が 1 往復する時間」と「おもりの重さ」の関係を調べるためには、変える条件と変えない条件を制御しながら実験を行う必要がある。変える条件を一つ、変えない条件を二つ挙げ、全て合わせて 100 字以内で記述しなさい。

(2) 「振り子が 1 往復する時間は、おもりの重さなどによっては変わらないが、振り子の長さによって変わることを調べる実験を行う上で留意することを四つ挙げ、それぞれ理由とともに全て合わせて 700 字以内で記述しなさい。

問 2 第 5 学年の内容「土地のつくりと変化」を扱う単元では、流れる水の働きについて学習する。このことに関する次の各問いについて、解答用紙の行頭 1 文字目に(1)～(4)の問題番号を書いた後に答えなさい。

- (1) 「土地のつくりと変化」に関して、流れる水の三つの働きとは何か、全て合わせて 25 字以内で記述しなさい。
- (2) 流れる水の三つの働きについて児童に見いださせるため、川やその周辺の様子が写っている写真を用いることにした。どのような写真を用いて、何の働きについて児童に見いださせるかを三つ挙げ、各 75 字以内で記述しなさい。なお、それぞれ異なる働きについて記述すること。
- (3) (2)で挙げた写真などを用いながら、流れる水の三つの働きと流れる水の速さ(流速)の関係について児童に考えさせることにした。流速の変化によって流れる水の三つの働きはどのように変わるか、75 字以内で記述しなさい。
- (4) 流れる水の三つの働きと流速の関係について児童に見通しをもたせた後、それを確かめるための実験方法について話し合わせることにした。流れる水の三つの働きと流速の関係を確認するためには、どのような実験を行えばよいか。使用する実験装置を具体的に挙げ、475 字以内で記述しなさい。なお、実験は、児童が個人や班ごとで行うものを想定しても、教師が演示実験として行うものを想定してもよい。また、実験場所は、教室内を想定しても、校庭などの校舎外を想定してもよい。

生 活

問 1 第 1 学年の単元「こうえんに いこう」において、自然豊かで遊具が設置され、地域の人が訪れる学区内の公園に徒歩で行く学習活動を行う。このことに関する次の各問いについて、解答用紙の行頭 1 文字目に(1)、(2)の問題番号を書いた後に答えなさい。

(1) 本単元を通して育みたい生活上必要な習慣の具体例を四つ挙げ、箇条書きで一つにつき 50 字以内で記述しなさい。

(2) 公園における学習活動の中で、児童が五感(視覚、聴覚、触覚、味覚、嗅覚)を働かせて身近な自然の素晴らしさを実感し、より多くの気付きが得られるようにしたい。そのための具体的な指導・支援の手立てを三つ挙げ、箇条書きで一つにつき 100 字以内で記述しなさい。

問 2 第2学年の単元「大きくなった 自分」において、自分の成長について振り返ってまとめる学習活動を行う。このことに関する次の各問いについて、解答用紙の行頭1文字目に(1)、(2)の問題番号を書いた後に答えなさい。

- (1) 自分の成長について振り返ったことを多様な表現方法でまとめさせたい。どのような内容をどのような方法でまとめるか。具体的な内容とその表現方法を組み合わせた例を四つ挙げ、一つにつき100字以内で記述しなさい。
- (2) 本単元では、児童一人一人の成長に関する内容を取り扱う。本単元を実施するに当たり、どのような配慮や支援をしたらよいか。具体的な配慮事項や支援内容を三つ挙げ、一つにつき100字以内で記述しなさい。

音 楽

問 1 次の①～④の中から二つ選んで、時代、国や地域、曲の特徴や様式、演奏の形態について、各 100 字以上 150 字以内で記述しなさい。なお、解答用紙の行頭 1 文字目に選んだ①～④の番号を書いた後に記述すること。

- ① 坂本龍一作曲 《メリー・クリスマス・ミスター・ローレンス》
- ② チャイコフスキー作曲 《ピアノ協奏曲第 1 番 変ロ短調 Op. 23》
- ③ ハイドン作曲 《交響曲第 94 番 ト長調 Hob. I:94》
- ④ モーツァルト作曲 《ピアノソナタ第 11 番 イ長調 K. 331》

問 2 「小学校学習指導要領」の「第 2 各学年の目標及び内容〔第 1 学年及び第 2 学年〕 2 内容
A 表現」の(2)には、器楽に関する次の指導事項が示されている。

- イ 次の(ア)及び(イ)について気付くこと。
- (ア) 曲想と音楽の構造との関わり
 - (イ) 楽器の音色と演奏の仕方との関わり

このことに関する次の各問いについて、解答用紙の行頭 1 文字目に(1)、(2)の問題番号を書いた後に答えなさい。

- (1) イの(イ)の内容に即し、器楽活動を指導する際の留意点について、160 字以上 200 字以内で記述しなさい。
- (2) (1)の留意点を踏まえた具体的な活動例を、160 字以上 200 字以内で記述しなさい。

図画工作

問 1 第3学年及び第4学年において、透明容器などの光を通す素材を組合せてオブジェをつくる表現活動を行うことにする。材料、用具、主な活動内容は、次のとおりである。なお、第3学年でつくるオブジェは「動物」、第4学年でつくるオブジェは「ランプ」とする。

【材料】

光を通す素材(例. 卵のパックなどの透明容器, ペットボトル, 透明プラスチック製のスプーンやストロー, 梱包材, 色セロハン, 薄い和紙等)

装飾用素材(例. ホログラムテープ, モール, ビーズ, 梱包材等)

段ボール箱(作品を中に入れ, 光り方を確認しながら表し方を考えるために使用)等

【用具】

接着剤(ボンド, セロハンテープ), 油性フェルトペン, はさみ, LED ライト

【主な活動内容】

- (1) 透明容器などを切ったり折ったりつなげたりしながら組合せて, つくりたいオブジェの形になるように接着する。
- (2) 色セロハンや油性フェルトペンなどで色を付けたり, ホログラムテープなどを貼ったりして, オブジェを装飾する。
- (3) オブジェにLEDライトの光を当てたり, LEDライトの上にオブジェをかぶせたりしながら, 透過する光の様子やオブジェの見え方の変化を鑑賞する。

この活動における「学習のめあて」を, 第3学年又は第4学年のどちらかを選択し, 次の①～③の観点から各50字以内で記述しなさい。なお, 解答用紙の行頭に学年(3年又は4年)と①～③の番号を書いた後に記述すること。

- ① 知識及び技能
- ② 思考力, 判断力, 表現力等
- ③ 学びに向かう力, 人間性等

問 2 「小学校図画工作の授業者」と「美術館・博物館などの施設における教育普及事業の担当者」が連携して授業を行う場合、どのようなものが考えられるか。実際の取組を踏まえ、300 字以内で記述しなさい。

家庭

問 1 第 6 学年において、「小学校学習指導要領」の「第 2 各学年の内容」〔第 5 学年及び第 6 学年〕

1 内容 A 家族・家庭生活 (2) 家庭生活と仕事」と「B 衣食住の生活 (6) 快適な住まい方」を関連させた授業を行うことにした。どのような授業内容にすればよいか。二つの内容を関連させて授業を行う意義を含め、800 字以内で記述しなさい。

問 2 A教諭は、教師用指導書を基に第5学年「調理の基礎 材料に適したゆで方」において「卵を好みの固さにゆでること」を課題に、児童一人につき一つの卵を配って調理実習を行った。児童は、教科書の「ゆで時間と卵の固まり方」の写真を参考にして各自のゆで時間を決めて調理を行った。その結果、3分間ゆでた児童Bの卵がまったく固まっていなかった。児童Bはドロドロなので食べたくないと言い、試食しなかった。次の問いについて、解答用紙の行頭1文字目に(1)、(2)の問題番号を書いた後に答えなさい。

- (1) 問題文にある下線部の事態の原因とその対策について、一つにつき120字以内で三つ記述しなさい。その際、冒頭に「一つ目の原因は・・・(対策を含む。以下、同様。)」 「二つ目の原因は・・・」と書いてから記述すること。
- (2) 卵をゆでる調理実習を行う際、児童の安全を守るために配慮すべきことについて、一つにつき220字以内で二つ記述しなさい。その際、冒頭に「一つ目は・・・」 「二つ目は・・・」と書いてから記述すること。

体 育

問 1 「小学校学習指導要領」の「第 1 目標」には、「運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う」ことが示されている。①「運動に親しむ」、②「健康の保持増進」、③「体力の向上を目指し」はそれぞれ何を示しているか。全て合わせて 400～600 字程度で記述しなさい。なお、解答用紙の行頭 1 文字目に①～③の番号を書いた後に記述すること。

問 2 中学年において、ゲームの楽しさや喜びに触れ、その行い方を知るために実施される「易しいゲーム」について、次の七つの語句を全て用いて 200～400 字程度で記述しなさい。なお、用いた七つの語句には、下線を引くこと(複数回用いた場合にも、その全てに下線を引くこと)。

【語句(使用する順番は問わない)】

「プレイヤー」 「コート」 「プレイ空間」 「緩和」
「制限」 「児童の発達の段階」 「基本的なボール操作」

外国語(英語)

問 1 あなたは、外国語科の授業をすることになった。次の①、②の場面において、どのようなことに配慮すべきか。あなたの考えをそれぞれ 300 字以内で記述しなさい。なお、解答用紙の行頭 1 文字目に①、②の番号を書いた後に記述すること。

- ① 既習表現を活用して、あなたが児童に向けて英語でまとまりのある話を聞かせる場面
- ② ①の既習表現を使って児童と口頭で英語でのやり取りをする場面

問 2 次の英文を読んで、下の各問いに答えなさい。なお、解答用紙の行頭 1 文字目に(1)、(2)の問題番号を書いた後に答えること。

Zoltán Dörnyei
Motivational Strategies in the Language Classroom

許諾を得ておらず不掲載

- (1) 英文全体を 100 字以内の日本語に要約しなさい。
- (2) 下線部の内容について、小学校外国語活動、外国語科の授業において、あなたならどのように対応するか、100 語以内の英語で具体的に記述しなさい。なお、記述に当たっては解答用紙のマス目に合わせる必要はない。